

## 高校生が製作した「橋梁模型」の最優秀賞を決定します！ ～平成28年2月12日（金） せんだいメディアテークにて～

第14回高校生「橋梁模型」作品発表会審査会を開催します。  
今回は、東北6県の高等学校18校から36作品の提出がありました。この中から一次審査を通過した10作品について、最終の審査会を開催し、最優秀賞等各賞の発表と表彰式を行います。

- 日 時：平成28年2月12日（金） 11：00～16：30
- 会 場：せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア  
(宮城県仙台市青葉区春日町2-1)

### 【高校生「橋梁模型」作品発表会審査会】

- 公 開 審 査 11：00～14：30  
※ 来場者の方に投票していただきます（入場無料・参加自由）。
- 開 会 式 13：00～
- 製作者プレゼンテーション 13：20～
- 各賞発表・表彰 15：45～

### 【橋梁技術講演会】

- 特 別 講 演： 14：30～15：30
  - ・講演①：『橋の維持管理』
  - ・講演②：『鋼橋へのアプローチ -未来の若手技術者に向けて-』

(発表記者会) 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

### 【お問い合わせ先】

高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会事務局（東北地方整備局 東北技術事務所内）

東北技術事務所 副所長 まつまえ よしのり 松前好則

東北技術事務所 施工調査・技術活用課長 ぬのみや あけみち 布宮明道

住所：多賀城市桜木3丁目6-1 電話022-365-8047

ホームページ：<http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/kyoryomokei/h27/index.html>

# 第14回 高校生「橋梁模型」作品発表会審査会 及び橋梁技術講演会について

## ○ 目 的

土木技術を学び将来の社会資本づくりを担う高校生に、模型づくりを通じて橋の種類や構造に関する知識を深めてもらうとともに、ものづくりの楽しさを体験してもらうことを目的に実施するものです。

平成14年から実施しており、今回で14回目となります。

## ○ 概 要

### 【申込状況】

東北6県の土木系の学科がある高等学校18校から36作品を提出いただきました。

作品の申込期間：平成27年7月1日（水）～平成27年9月30日（水）

作品の提出期限：平成28年1月8日（金）

### 【一次審査】

平成28年1月20日（水）に、東北地方整備局東北技術事務所内で開催。

7名の審査員により「構造物としての安定した外観」「出来映え」「アイディア・デザイン」を審査し、獲得点が上位の10作品（別紙チラシの裏面参照）を選定しました。

### 【二次審査】

平成28年2月12日（金）に、せんだいメディアテークで開催予定。

一次審査で選考された10作品の一般公開と来場者の方に投票をしていただきます。また、この10作品の製作者（高校生）によるプレゼンテーションを行います。一般の方の投票により得られた獲得点とプレゼンテーションの審査員による審査で得られた獲得点は、一次審査の獲得点に加算されます。

### 【各賞決定】

一次審査と二次審査での獲得点に基づき、審査員による最終協議で各賞を決定します。

### 【各賞発表・表彰】

最優秀賞：1作品

優秀賞：2作品

審査員特別賞：1～2作品

努力賞：5～6作品

プレゼンテーション賞：1校

} 一次審査を通過した10作品

## ○ 橋梁技術講演会とパネル展示

二次審査と同時開催で、橋梁技術講演会とパネル展示を行います。

### 【橋梁技術講演会】 14：30～15：30

講演①：『橋の維持管理』

講師：（一財）橋梁調査会常務理事兼東北支部長 加島 聰 氏

講演②：『鋼橋へのアプローチ ―未来の若手技術者に向けて―』

講師：（一社）日本橋梁建設協会 技術委員会委員 入部 孝夫 氏

### 【パネル展示】

復興道路を支える10の建設技術、インフラのストック効果のパネル展示 等

○ 第14回（平成27年度）作品提出学校一覧

所在県	学校名	作品数	所在県	学校名	作品数
青森県	八戸工業高等学校	1 作品	秋田県	秋田工業高等学校	4 作品
	弘前工業高等学校	2 作品		能代工業高等学校	1 作品
	青森工業高等学校	1 作品		7 作品	大館工業高等学校
	5所川原農林高等学校	2 作品	山形県	山形電波工業高等学校	4 作品
岩手県	一関工業高等学校	1 作品		米沢工業高等学校	2 作品
				7 作品	山形工業高等学校
宮城県	仙台工業高等学校	2 作品	福島県	相馬農業高等学校	4 作品
	古川工業高等学校	1 作品		7 作品	二本松工業高等学校
	石巻工業高等学校	2 作品	計	18校	36作品
	黒川高等学校	1 作品		※順番は、所在県行政順、申込み順	
	8 作品	迫桜高等学校		2 作品	

○ 審査員（敬称略）

審査員名	所属・役職
樋渡 滋（審査員長）	東北学院大学工学部 名誉教授
森島 修（副審査員長）	（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会 東北支部長
大野 豊繁	（一社）日本橋梁建設協会 技術・調査部長
高橋 重道	（一社）東北地域づくり協会 仙台支所長
堂前 満	（一財）橋梁調査会 東北支部 調査役
三田 昌彦	（一社）建設コンサルタンツ協会 東北支部 技術部会長
加藤 信行	東北地方整備局 東北技術事務所長

○ 主催

高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会

（委員長：一般社団法人日本橋梁建設協会 東北事務所長 前田 豊）

【構成団体名】

一般社団法人日本橋梁建設協会 東北事業所

一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会 東北支部

一般社団法人東北地域づくり協会

一般財団法人橋梁調査会 東北支部

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 東北支部

東北地方整備局 東北技術事務所

※過去の受賞作品はこちら

<http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/kyoryomokei/h27/index.html>